

Sun Fire X2270 サーバー ご使用の手引き

このマニュアルでは、初めてサーバーの電源を入れて起動するために実行する必要がある最低限のステップについて説明します。

詳細な情報は、『Sun Fire X2270 サーバー設置マニュアル』を参照してください。このマニュアルは、Sun ドキュメント Web サイトから入手できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/sf.x2270>

このシステムのドキュメントの詳細なリストについては、このドキュメントの最後にある節「この製品のドキュメント」を参照してください。

目次

注意しながら、すべてのサーバーコンポーネントの開梱を行います。Sun Fire X2270 サーバーに同梱されている場合があるアイテムは次のとおりです。

- カントリーキットとは別に梱包されている電源コード。
- アダプタやネットワークケーブルなど、システムに適用可能なハードウェア
- Sun Fire X2270 サーバーベースドキュメントキット。次のものが含まれます。
 - 『Sun Fire X2270 サーバーご使用の手引』
 - ライセンスと安全性についてのドキュメント
- (オプション) Sun Fire X2270 サーバーのドキュメントとメディアキット。次のものが含まれます。
 - 『Sun Fire X2270 サーバー設置マニュアル』
 - Tools & Drivers DVD (ドライバおよび追加のソフトウェアが収録されています)、SIA CD/DVD、および SunVTS CD/DVD
 - ライセンスと安全性についての追加ドキュメント
- (オプション) ラックレールと取り付け手順が含まれているラックマウントキット

安全性とコンプライアンスに関する情報

設置を始める前に、Sun Fire X2270 サーバーに関する安全上の注意について、次のマニュアルを参照してください。

- 『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』 - 出荷品一式に入っている印刷版マニュアル。
- 『Sun Fire X2270 Server Safety and Compliance Manual』 - Sun ドキュメント Web サイトからオンラインで入手可能。

▼ オプションコンポーネントのインストール

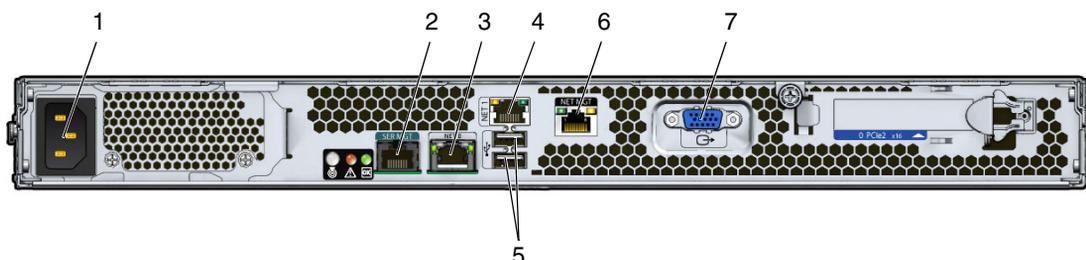
サーバーをラックに設置する前に、サーバーとともに注文されたオプションコンポーネント (DIMM、PCIe カードなど) を取り付けます。オプションコンポーネントの取り付けの手順については、『Sun Fire X2270 Server Service Manual』を参照してください。

▼ラックへのシステムの設置

ラックに取り付ける手順については、レールキット、サーバーの保守ラベル、およびオンラインの『Sun Fire X2270 Server Service Manual』の説明を参照してください。

▼ケーブルの接続

1. サーバーの SER MGT ポートと端末デバイスを、シリアルケーブルで接続します。



図の説明

1 AC 電源コネクタ	5 USB 2.0 ポート (2)
2 シリアル管理 (SER MGT)/RS-232 RJ-45 シリアルポート	6 ネットワーク管理 (NET MGT) Ethernet ポート (サービスプロセッサモジュールを備えるシステムのみで使用可能)
3 ギガビット Ethernet ポート (NET-0)	7 HD15 ビデオコネクタ (サービスプロセッサモジュールを備えるシステムのみで使用可能)
4 ギガビット Ethernet ポート (NET-1)	

サービスプロセッサ (Service Processor、SP) モジュールを備えるシステムでは、サーバーの SER MGT ポートに接続することで、SP との初期通信が可能です。このデバイスの通信設定は、9600 ボー、8 ビット、パリティなし、1 ストップビットにします。ヌルモデム構成が必要です。つまり、DTE 間の通信で送受信の信号が逆になるようにクロスされます。標準の RJ-45 ケーブルとともに付属の RJ-45 クロスアダプタを使用して、ヌルモデム構成を実現できます。

2. (省略可能) サーバーの NET MGT ポートと、SP およびホストにあとで接続されるネットワークを、Ethernet ケーブルで接続します。

SER MGT ポートを使用してシステムの初期構成を行なったあと、通常、SP およびホストとの通信はこの Ethernet インタフェースを介して行われます。

3. サーバーの NET ポート (NET-0 または NET-1) の 1 つとサーバーが通信するネットワークを、Ethernet ケーブルで接続します。

4. 電源装置に電源コードを接続します。

電源を入れると、SP が初期化を行い、電源/OK LED が点滅します。数分後、SP ログインプロンプトが端末デバイスに表示されます。ホストの初期化または電源投入はまだ行われていないことに注意してください。

接続オプションの詳細は、『Sun Fire X2270 サーバー設置ガイド』を参照してください。

▼システムの電源投入

初期構成の前に、サービスプロセッサ (Service Processor、SP) のスタンバイ電源を入れるには、次の手順を実行します。



注意 - 必ず、ファン、コンポーネントヒートシンク、エアパッフル、カバーをすべて取り付けてから、サーバーを操作してください。十分な冷却機構がない状態でサーバーを動作させた場合、サーバーコンポーネントに重大な損害が生じる可能性があります。

注 – 手順 1 は SP の初期構成用にスタンバイ電源を入れる方法を説明していて、SP モジュールを備えるシステムにのみ適用されます。SP を備えていないシステムの場合は、手順 2 に進んでサーバーの主電源を入れます。

1. 電源コードが接続されていること、およびスタンバイ電源が入っていることを確認します。



図の説明

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 緑色の電源/OK LED | 3 システムのシリアル番号のラベル |
| 2 電源ボタン | |

この時点では、スタンバイ電源はサービスプロセッサおよび電源装置のファンにのみ供給されています。プラットフォームのオペレーティングシステムをインストールする準備が整うまで、サーバーのほかの部分には主電源を入れないでください。スタンバイ電源モードでは、前面パネルの電源/OK LED が点滅します。

2. サーバーのフロントパネルにある電源ボタンを押してから離し、サーバーの主電源を入れます。

主電源がフルサーバーに適用されると、電源ボタンの隣にある電源/OK LED が点灯し、そのまま点灯しつづけます。

注 – サーバーの電源を初めて入れたときは、電源投入時自己診断 (Power-On Self-Test、POST) が完了するのに 1 分程度かかる場合があります。

3. 『Sun Fire X2270 サーバー設置マニュアル』に従って、ソフトウェアの初期設定作業を続けます。

接続オプション

この節では、サービスプロセッサ (Service Processor、SP) および Integrated Lights Out Manager (ILOM) ソフトウェアの初期設定の作業について説明します。ILOM を使用して Sun Fire X2270 サーバーを構成および管理する方法については、『Sun Fire X2270 サーバー設置マニュアル』および『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』を参照してください。

3 種類の方法で ILOM SP に接続して初期設定と構成を実行できます。

- シリアル接続を使用して ILOM に接続する
- Ethernet 接続 (DHCP) を使用して ILOM に接続する
- Ethernet 接続 (静的 IP アドレス) を使用して ILOM に接続する

このマニュアルでは、シリアル接続を使用して ILOM に接続する方法を説明します。ほかの方法については、『Sun Fire X2270 サーバー設置マニュアル』を参照してください。

注 – サーバーが SP モジュールまたはオプションのビデオカードを備えていない場合は、端末をサーバーのシリアルポートに接続します。ビデオは、SP またはビデオカードを備えていないシステムのシリアルポートにルーティングされます。システムが SP モジュールを備えていない場合は、ILOM にログインして起動するために必要な手順を省略します。

▼ シリアル接続を使用して ILOM に接続する

1. 使用している端末、ラップトップ、または端末サーバーが動作していることを確認します。
2. まだ行っていない場合は、端末デバイス、またはノートパソコンか PC で実行されている端末エミュレーションソフトウェアを設定します。説明と手順は、「[ケーブルの接続](#)」を参照してください。
3. まだ行っていない場合は、サーバーの背面パネルにある RJ-45 SER MGT ポートから端末デバイスに、シリアルケーブルを接続します。説明と手順は、「[ケーブルの接続](#)」を参照してください。
4. 端末デバイスで Enter キーを押して、端末デバイスと ILOM SP との接続を確立します。

SP は最終的に次の例のようなログインプロンプトを表示します。

```
SUNSP003BA84D777 login:
```

5. ILOM にログインします。

- a. デフォルトのユーザー名 (**root**) を入力します。
- b. デフォルトのパスワード (**changeme**) を入力します。

正常にログインすると、SP にデフォルトのコマンドプロンプトが表示されます。

->

コマンド行インタフェース (Command-Line Interface、CLI) のコマンドを実行し、サーバーのユーザーアカウント、ネットワーク設定、アクセスリスト、警告、およびその他のパラメータに合わせて、ILOM を設定できます。CLI コマンドの詳細な操作方法については、『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』を参照してください。

注 - Esc (キー操作の入力によって、シリアルコンソールから SP CLI にスイッチバックすることができます。

▼ システムの登録

1. システムのシリアル番号を確認します。シリアル番号は、Sun EZ ラベル、システムに付属する Customer Information Sheet、およびサーバーの前面にあるシステムシリアル番号ラベルに記載されています。
2. 次の Web サイトにアクセスし、システムを登録します。

<http://www.sun.com/service/warranty/index.xml#reg>

▼ プラットフォームオペレーティングシステム、ドライバソフトウェア、およびファームウェアの設定

ILOM SP のネットワーク設定を行なったあとは、プリインストールされているオペレーティングシステム (Operating System、OS) の設定、またはサポートされている Solaris™、Linux、Windows プラットフォーム OS とドライバのインストールを行うことができます。詳細と手順については、次のドキュメントを参照してください。

注 - Solaris 以外の OS をインストールするときは、Sun Installation Assistant (SIA) を使用することを強くお勧めします。SIA は、すべての必要な OS コンポーネントを自動的に探してインストールします。

オペレーティングシステム	参照するドキュメント	追加情報の参照先
プリインストールされている Solaris	『Sun Fire X2270 サーバー設置マニュアル』	http://www.sun.com/software/preinstall
Solaris	『Sun Fire X2270 Server OS Installation Guide』	http://www.sun.com/servers/x64/x2270/os.jsp
VMware	『Sun Fire X2270 Server OS Installation Guide』	
Linux	『Sun Fire X2270 Server OS Installation Guide』	
	『Windows および Linux 用 Sun Installation Assistant ユーザーズガイド』	http://www.sun.com/systemmanagement/sia.jsp
Windows	『Windows および Linux 用 Sun Installation Assistant ユーザーズガイド』	
	『Sun Fire X2270 サーバー Windows オペレーティングシステム インストールガイド』	http://www.sun.com/servers/x64/x2270/os.jsp

注 - サポートされるオペレーティングシステム、パッチ、最新のファームウェアについては、『Sun Fire X2270 Server Product Notes』を参照してください。最新のファームウェア情報は、<http://www.sun.com/server/x64/x2270/downloads.jsp>でも入手できます。

▼ ファームウェアのアップグレード

システムのファームウェアのアップグレードについては、『Sun Fire X2270 Server Service Manual』を参照してください。

この製品のドキュメント

次の表では、新しいシステムをインストールするときに実行する可能性のある作業の適切な順序でドキュメントのリストを示します。左側で作業を探し、それに対応する右側のドキュメントを参照してください。すべてのドキュメントの最新バージョンについては、Sun ドキュメント Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/sf.x2270>

ドキュメントの翻訳版については、<http://docs.sun.com> Web サイトにアクセスし、言語を選択して、その言語のドキュメントセットを入手してください。

作業	ドキュメントの種類	Part No.
安全性に関する情報の確認。	安全の手引き	(820-5605)
	『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』	(816-7190)
既知の問題および回避方法の確認。	プロダクトノート	(820-7795)
ラックハードウェアの設置。 サーバーのケーブル配線と電源投入。 サービスプロセッサへの接続と、ネットワーク設定の決定。 プリインストールされた Solaris OS の設定。	設置マニュアル	(820-7783)

作業	ドキュメントの種類	Part No.
サポートされるオペレーティングシステムのインストール。 Solaris の再インストール、または Linux か Windows Server のインストール。	オペレーティングシステムインストールガイド	(820-7786)
	Windows オペレーティングシステムインストールガイド	(820-7789)
	『Windows および Linux 用 Sun Installation Assistant ユーザーズガイド』	(820-6352)
サーバーアカウントの管理。警告の監視。遠隔アクセスとリダイレクションの設定、コンポーネントのステータスとイベントログの表示。	『Sun Integrated Lights Out Manager 2.0 ユーザーズガイド』	(820-2698)
	『Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) 2.0 補足マニュアル Sun Fire X2270 サーバー』	(820-7792)
BIOS 設定と RAID 設定のカスタマイズ。 ハードウェアコンポーネントの削除と交換。 サーバーの問題のトラブルシューティングと分離。 システム仕様とハードウェア参照資料の検討。	サービスマニュアル	(820-5607)
システムの問題の診断	診断ガイド	(820-7813)

Sun 連絡先情報

トピック	URL
技術サポート	http://www.sun.com/service/contacting
このドキュメントについてのコメントの送信	http://www.sun.com/hwdocs/feedback ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。 『Sun Fire X2270 サーバーご使用の手引き』、Part No. 820-7780-10
パッチとファームウェアの更新	http://www.sun.com/support/index.jsp

Copyright 2008 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.



Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 820-7780-10, Revision A
2009 年 3 月